し等にとつては法律ほどありがたいものはありませんや。ヒ、ヒ、ヒ……。

秀作　（突然たきのカンテラを取り、よろめきながら家の中にとび込み、玄関の戸を中から鎖す。）

光子　あなた、あなた……。

（六左ヱ門、かつら下手より急ぎ登場）

藤川　旦那、馬鹿な真似をしなさるな。カンテラを提げて二階から月でも眺めるつもりかね。なあそれもよかろう。しかし旦那　（東京の）　もう一度竹世山さんに無心の手紙を出しなさい。（金にしてたつた三百両位）それだけで問題は決まるんですからね。

光子　あなた、どうなさいました。あなた　（ひどく玄関の戸を叩く）

六左ヱ門　旦那さま、旦那さま……。

かつら　お父さま、お父さま……。

（突然家の中から炎があらはれ、黒い煙が立ち上る。）

藤川　ちえッ火を放けやがつたな。